

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 41

令和6年度『岡崎嘉平太記念館 わくわく科学塾』開催

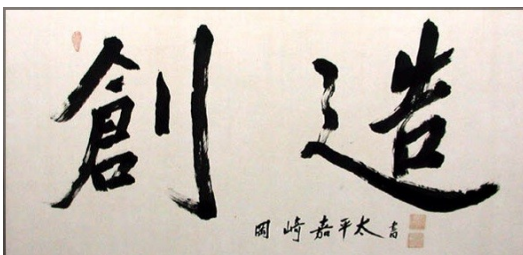
令和6年7月5日(金) きびプラザ3階 大ホールにて

岡崎嘉平太氏は、経済界での活躍や日中友好で多大な功績を残した一方で、仁科博士の(株)科学研究所等にも関わるなど、先端技術に大きな関心を寄せ、岡崎氏の「創造」の書には、「新しい技術を開発しないかぎり、日本の未来はない。未開拓な科学技術の分野の研究を応援する。」とあり、岡崎氏の若い人への期待が込められています。

岡崎嘉平太記念館では、岡崎氏の志をもとに、子ども達に身近に科学に触れ合う機会を提供し、驚きや不思議の体験から科学に関心を持ち、科学的思考力を身につけるきっかけとなるよう、科学塾を開催しており、平成28年から、途中、新型コロナウイルス感染症による中止等をはさんで、今年度が6回目となります。

この度は、岡崎氏が岡山大学工学部創設に大きく関わられたことから、岡山大学総合技術部(旧工学部創造工学センター技術支援部)の技術職員の皆さんを講師でお招きしました。

吉備中央町にある小学校全10校の児童約100人が集まり、「入浴剤を作ろう」「スライムを作ろう」「ペットボトル万華鏡を作ろう」「星箱を作ろう」「人工いくらをつくろう」「クロマトアートでしおりを作ろう」「ストローとゴムで作ってみよう」など、出展されたブースを思い思いに体験しました。



「私は以前から『新しい技術を開発しないかぎり、日本の未来はない』と主張し続けてきた。資源がない国の人間は、頭を使わなくてはならない。技術というものは、常に進歩を考えていなければならない。一日おこたれば一日遅れをとる。事実、新製品は毎年のように更新され生まれ変わっている。科学の粋を集めた飛行機のようなものでもかつてはプロペラで終わりだと思われてきた。ところがジェットエンジンが開発された。今はその改良で精一杯である。が、私は第三の動力をと言っている。プロペラは竹とんぼからの発想であり、ジェットは海中のイカの泳ぎがヒントになった。第三の動力も自然の中で見つかるはずである。」

岡崎嘉平太著『二十一世紀へのメッセージ』から

岡山大学工学部創設を支えたのは県民や地元財界の熱意

昭和35年(1960年)4月1日に、岡山県民、岡山大学にとって念願であった『工学部』が、機械工学科と工業化学科の2学科(定員各40名)で設立されて、今年で64年。「昭和20年代後半、農業県から工業県への転換を図っていた岡山県では、工学系学部の設置が熱望されていました。しかし、昭和32年、33年の2回にわたり設置要求は否決。県当局と県民の熱意、三木県知事を会長とする工学部施設整備委員会からの、地元負担金2億5000万円の募金のおかげもあり、3回目の要求でやっと、昭和35年工学部の新設が決定しました。工学部の誕生は、県民の皆様の熱意があつての成果です。」(岡山大学広報『いちよう並木』2020Vol195 榎野博史岡山大学長談 一部抜粋) その工学部施設整備委員会の委員の一人が岡崎嘉平太氏です。

第18回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

岡崎嘉平太氏が愛した豊かな自然、心なごむ風景の写真を通じ、岡山の良さを再認識する機会にしたいとの願いを込めて始めた写真展も18回目を数え、今回も岡山県内外から211点ものご応募をいただきました。岡山県美術展覧会(県展)審査員の長瀬正己氏と日本画家の森山知己氏、(公財)岡山県郷土文化財団常務理事、岡崎嘉平太記念館館長による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい16点の入賞作品が決まりました。令和6年4月15日(月)から6月16日(日)まで同記念館企画展示室・嘉あちゃんの部屋で、7月16日(火)から21日(日)まで岡山県天神山文化プラザ第一展示室小室にて、ご応募いただいた全作品を展示しました。

入賞作品



【最優秀賞】 平田 晃一
「猫神様」



【優秀賞】 戸田 直子
「牧場の春」



【優秀賞】 仁井 一郎
「放鳥の日」

【審査員特別賞】

河田 則子 芝 次昇
真木 昌子

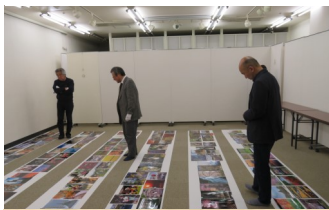
【入賞】

浅原 武計 石井 スエ子
内田 和樹 陰山 亜紀子
神崎 由子 黒住 和美
最相 典子 最相 政美
新川 洋子 西垣 大翔

(敬称略・順不同)

審査員の先生方からいただいた、入賞作品についての講評をご紹介します。

- 全体** 全体的にレベルの高い作品が多く集まった。落とすのに苦労し、選ぶのに苦労した。見応えのある作品が多い。
- 最優秀賞** ネコがあくびをした一瞬のシャッターチャンスを手早くとらえ、大変力強さを感じる作品である。何枚も取ったのだろう、構図も面白く、良いシーンをとらえている。
- 優秀賞(戸田氏)** 山と牧草地の緑の色が何とも言えず美しい。強い光ではなく、柔らかい光の中で、暫くカメラを構えてじーっと眺めた後に撮られた写真ではないか。ワンショットを手早くとらえている。爽やかな風さえも伝わってくるような写真となっている。
- 優秀賞(仁井氏)** 後樂園というなじみ深い場所であるにも関わらず、見たことがないような風景となって、驚きや新鮮さを感じる写真となっている。構図が面白い。
- 審査員特別賞(芝氏)** 印象派そのもの、といった作品。夕方の一瞬をとらえた、いやみのない、やわらかい雰囲気の写真となっている。雲(霞?)が光を弱めて良い仕事をしている。
- 審査員特別賞(河田氏)** とても力強い作品。写真全体の光が“ワイルドライフ”的なアフリカ的な違う世界観となっている写真。
- 審査員特別賞(真木氏)** 写真を撮った側の、ストレートに可愛いと思った気持ちが伝わってくる作品。
- 入選作品** 全体的に激戦の中の激戦。入選となった作品ではあるが、どの作品も上位にいてもおかしくないし、上位と遜色のない作品ばかりだった。見る側に撮った側の気持ちが伝わってくる作品が多い。



審査風景 令和6年3月18日(月)
長瀬正己先生・森山知己先生
岡山県郷土文化財団常務理事
岡崎嘉平太記念館館長



表彰式風景
令和6年5月18日(土)



岡崎嘉平太記念館会場



岡山県天神山文化プラザ会場

第18回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展 入賞作品展

9月27日(金)～10月21日(月)

会場:岡山県自然保護センター
センター棟スロープ

・休所日/毎週火曜日
・開所時間/午前9時～午後4時半

協力:岡山県自然保護センター

10月25日(金)～11月17日(日)

会場:ジップアリーナ岡山
エントランスホール

・開館時間/午前8時半～午後9時
(ただし、有料試合日を除く)

主催
岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山
岡崎嘉平太記念館

11月23日(土)～12月15日(日)

会場:総社市総合文化センター
市民ギャラリー

・休館日/毎週月曜日
・開館時間/8時半～17時15分
(最終日は16時まで)

主催:総社市・岡崎嘉平太記念館

第16回

嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和6年2月17日(土)から3月4日(月)まで開催。吉備中央町内全小学校10校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。小学校最後の思い出に制作した習字、版画、木彫りのアルバムなど、72名の皆さんの力作が並びました。 **企画展示室にて**



嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

歴代上位入賞作品展

～私が切り取ったふるさと岡山の風景～

主催：岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山
岡崎嘉平太記念館

令和6年6月2日(日)から30日(日)まで開催。岡山県総合グラウンド ジップアリーナ岡山エントランスホールに歴代上位入賞作品39点を展示しました。また、併せて岡崎嘉平太氏の紹介パネルも展示しました。



ワークショップ

「オリジナル缶バッチ作り」

パンダの缶バッチを作ろう！

令和6年4月21日(日)に開催。「吉備高原都市」さんさん広場一帯で開催された「第33回吉備高原都市さんさん祭り」に併せて行い、43名の参加がありました。 **記念館前通路にて**



岡崎嘉平太記念館 令和6年度 夏休みミニ企画展

嘉平太さんの書道具展

令和6年7月31日(水)から9月1日(日)まで企画展示室で開催。岡崎嘉平太氏の趣味の一つに「書」がありました。生涯たくさんの「書」をのこしました。また遺品の中にも書道具がたくさんあり、落款も多くのこしていました。これらの一部を近年寄贈されたものを含めて紹介、あわせて遺墨数点も展示しました。同時に『嘉あちゃんの部屋』では8月29日(木)まで、書道具に関する本や、書に関する本を紹介しました。



令和5年度 第2回

岡崎嘉平太記念館運営協議会

令和6年2月6日(火)に開催
記念館企画展示室にて

令和6年度 第1回

岡崎嘉平太記念館運営協議会

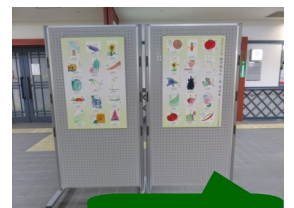
令和6年6月18日(火)に開催
きびプラザ内第一会議室にて

令和4年4月1日、地元自治体、関係機関・団体、岡崎氏と関わりがあった県内企業等から10名が構成員となる岡崎嘉平太記念館運営協議会を立ち上げました。構成員の皆様からの幅広いご意見を取り入れて、開かれた記念館を目指しています。



令和6年度 夏休み企画 絵手紙をかく会

令和6年7月26日(金)に開催。吉備高原児童クラブの皆さんを中心に約65人が参加しました。大和公民館「絵手紙クラブ」の先生方に教わりながら、野菜や花などを題材に思い思いの作品を完成させました。 **第一会議室**



作品展示風景

作品展示日程

- 開催中～9月1日(日) きびプラザ記念館前通路
- 令和6年9月2日(月)～9月17日(火) 大和郵便局(吉備中央町)

『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中」フォーム、又はFAX・郵便等でもお受けいたします。

ご来館くださいました

吉備中央町内の下竹荘小学校3・4年生と吉備高原小学校6年生と大和小学校3・6年生の児童の皆さんや先生方が授業の一環で来館されました。学芸員による紙芝居や館内説明、クイズ等で学習した後、ANAオリジナルの紙飛行機を作って、きびプラザの広場で飛ばしました。当館では岡崎氏について子供達にしっかりと伝えていきたいと、出前講座も含めて教育普及に努めています。



講演しました

令和6年2月13日(火)当館学芸員の初岡綾子が「岡山県日中懇話会 中国文化セミナー 日中平和友好条約締結45周年」(30名参加)にて、『岡崎嘉平太記念館収蔵資料にみる中国文化』と題して講演しました。

また、2月25日(日)当館の杉原雅夫館長が「第7回高碓達之助記念講演会」(120名参加・大阪府高槻市)にて講演しました。



出展しました

倉敷市立美術館で開催された「2024 東アジア平和友好絵画展」(主催:日本中国伝統文化友好協会・岡山九条美術の会)に出展しました。嘉平太氏の生涯や功績をパネルやパンフレットで紹介しました。



これからの催し

参加者募集中!

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第23回講演会

令和6年10月27日(日) 13:30~15:30(予定)
きびプラザ 3階大ホール 参加無料

講師：松田 久氏
岡山商工会議所
会頭

対談

講師：朱 金諾氏
元全日本空輸株式会社
CX推進室兼中国常任理事

令和6年度 秋の特別企画展
岡崎嘉平太 訪中の足跡写真展
令和6年9月22日(日)~12月20日(金)
企画展示室

※朱金諾氏所蔵の写真を中心としながら、岡崎氏の訪中の足跡をたどる写真展

これからの 嘉あちゃんの部屋での催し

休館日/毎週火曜日
開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで)

岡山きのこ研究会 きのこ写真展
令和6年9月9日(月)~26日(木)

小田廣子 きめこみ人形作品展
令和6年10月2日(水)~7日(月)

宇野和行・高杉龍美 二人展(仮)
令和6年10月12日(土)~27日(日)

※「嘉あちゃんの部屋」はコミュニティづくりや地域振興などを目的として、主に町内の団体及び住民の方々に、学習の場、憩いの場、ふれあいの場、作品発表の場を提供するための施設で、どなたでもお気軽に利用できます。

吉備高原公民館 ミニミニ文化祭2024

令和6年11月1日(金)~4日(月)

レコードジャケット展(仮)

令和6年11月7日(木)~11日(月)

※令和6年11月10日(日)レコードコンサート開催

2023年 岡山県自然保護センター写真展

令和6年11月16日(土)~12月15日(日)

編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <https://www.okazaki-kaheita.jp> Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp